

令和4年（2022年）第10回定例会

枚方市教育委員会会議録

令和4年（2022年）10月25日

枚方市教育委員会

令和4年(2022年)第10回 枚方市教育委員会
定例会議案書

日程 1	教育長報告
---------	-------

案 件 名		
日程 2	報告第16号	臨時代理事項の報告について (1) 職員の人事異動について(幼稚園)
日程 3	報告第17号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 枚方市立生涯学習市民センター・図書館(複合6施設)及び枚方市立香里ヶ丘 図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場の指定候補者選定の答申について

○開催日時 令和4年(2022年)10月25日 午前10時00分から
○開催場所 輝きプラザきらら3階 教育委員会室

臨時代理事項の報告について

標題の件について、次のとおり臨時代理処分をしたので教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第3項の規定により教育委員会に報告し、承認を求める。

令和4年(2022年)10月25日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

- 1 -

1. 臨時代理の理由

特に緊急を要するため

2. 臨時代理事項

臨時代理第15号 職員の人事異動について（幼稚園）

- 2 -

職員の人事異動について（幼稚園）

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成 3 年枚方市教育委員会規則第 2 号）第 3 条第 2 項の規定により臨時代理する。

令和 4 年（2022 年）9 月 27 日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

- 3 -

1. 臨時代理の内容

令和 4 年 10 月 1 日付け職員の人事異動

職員の異動（正職員）

新	氏名	旧
子ども未来部 係長 併 枚方市立蹉跎幼稚園 係長	野村 賀永	子ども未来部 係長
子ども未来部 主任 併 枚方市立枚方幼稚園 主任	中嶋 恵美子	子ども未来部 主任
子ども未来部 主任 併 枚方市立高陵幼稚園 主任	藤原 智子	子ども未来部 主任

職員の異動（任期付職員）

新	氏名	旧
子ども未来部 子育て支援室 公立 保育幼稚園課 併 枚方市立田口山幼稚園	福本 法子	子ども未来部 子育て支 援室 公立保育幼稚園課

- 4 -

委員会の会議に付した事項の報告について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第4条第2号の規定により教育委員会に報告する。

令和4年（2022年）10月25日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

1. 報告事項

枚方市立生涯学習市民センター・図書館（複合6施設）及び枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場の指定候補者選定の答申について

- 5 -

2. 内容

令和4年（2022年）6月28日開催の教育委員会定例会で可決された次の①から④の各指定管理者選定委員会への諮問について、令和4年（2022年）10月20日付け（④については令和4年（2022年）10月17日付け）で、次ページからのとおり、答申を受けた。

指定管理者選定委員会一覧

- ①枚方市立蹉跎・牧野生涯学習市民センター・図書館指定管理者選定委員会
- ②枚方市立御殿山・菅原生涯学習市民センター・図書館指定管理者選定委員会
- ③枚方市立楠葉・津田生涯学習市民センター・図書館指定管理者選定委員会
- ④枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場教育委員会選定委員会

写

令和4年10月20日

枚方市教育委員会

枚方市立御殿山・菅原生涯学習市民センター・図書館
指定管理者選定委員会
会長 本多 重夫

枚方市立御殿山生涯学習美術センター・御殿山図書館及び枚方市立菅原生涯学習市民センター・
菅原図書館指定候補者選定に係る答申書

本委員会に対して諮問のあった枚方市立御殿山生涯学習美術センター・御殿山図書館及び枚方市立菅原生涯学習市民センター・菅原図書館指定候補者の選定について、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

なお、市においては、答申を十分に尊重し、下記指定候補者を指定管理者に指定するための手続を取られるよう要請します。

記

枚方市立御殿山生涯学習美術センター・御殿山図書館及び枚方市立菅原生涯学習市民センター・
菅原図書館指定候補者

団体名称等 枚方まなびつながりプロジェクト
(代表団体)
大阪府大阪市西区京町堀一丁目4番16号
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
代表取締役社長 岩井 政道

写

令和4年10月20日

枚方市教育委員会

枚方市立陸庇・牧野生涯学習市民センター・図書館
指定管理者選定委員会
会長 本多 重夫

枚方市立陸庇生涯学習市民センター・陸庇図書館及び枚方市立牧野生涯学習市民センター・
牧野図書館指定候補者選定に係る答申書

本委員会に対して諮問のあった枚方市立陸庇生涯学習市民センター・陸庇図書館及び枚方市立牧野生涯学習市民センター・牧野図書館指定候補者の選定について、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

なお、市においては、答申を十分に尊重し、下記指定候補者を指定管理者に指定するための手続を取られるよう要請します。

記

枚方市立陸庇生涯学習市民センター・陸庇図書館及び枚方市立牧野生涯学習市民センター・
牧野図書館指定候補者

団体名称等 さだ・まきの文化創造プロジェクト
(代表団体)
東京都千代田区神田神保町二丁目30番地
株式会社小学館集英社プロダクション
代表取締役社長 都築 伸一郎

写

令和4年10月20日

枚方市教育委員会

枚方市立楠葉・津田生涯学習市民センター・図書館
指定管理者選定委員会
会長 本多 重夫

枚方市立楠葉生涯学習市民センター・楠葉図書館及び枚方市立津田生涯学習市民センター・
津田図書館指定候補者選定に係る答申書

本委員会に対して諮問のあった枚方市立楠葉生涯学習市民センター・楠葉図書館及び枚方市立津田生涯学習市民センター・津田図書館指定候補者の選定について、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

なお、市においては、答申を十分に尊重し、下記指定候補者を指定管理者に指定するため
の手續を取られるよう要請します。

記

枚方市立楠葉生涯学習市民センター・楠葉図書館及び枚方市立津田生涯学習市民センター・
津田図書館指定候補者

団体名称等 枚方まなびつながりプロジェクト
(代表団体)
大阪府大阪市西区京町堀一丁目4番16号
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
代表取締役社長 岩井 政道

写

令和4年10月17日

枚方市教育委員会

枚方市立香里ヶ丘図書館・みどりの広場
教育委員会指定管理者選定委員会
会長 本多 重夫

枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定候補者選定に係る答申書

本委員会に対して諮問のあった枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定候補者の選定について、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

なお、市においては、答申を十分に尊重し、枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定候補者を枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定管理者に指定するための手續を取られるよう要請します。

記

枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定候補者
団体名称等 図書館流通センター・長谷エコメディア共同事業体
(代表団体)
東京都文京区大塚三丁目1番1号
株式会社図書館流通センター
代表取締役 谷一 文子

令和4年（2022年）第10回 枚方市教育委員会
定例会議案書

（追加）

案 件 名		
日程 4	報告第18号	臨時代理事項の報告について (1) 府費負担教職員の懲戒処分に関する内申について

○開催日時 令和4年（2022年）10月25日 午前10時00分から
○開催場所 輝きプラザきらら3階 教育委員会室

教育委員会の活動状況（令和4年9月17日～10月19日分）

日時		会議・行事等	場所	出席者
9月18日	日	25周年記念ひらかたカップドッジボール大会	KTM河本工業総合体育館 (枚方市立総合体育館)	尾川教育長
9月19日	月	枚方市制75周年関連事業 河本工業presents枚方市・大阪エヴェッサ バスケットボールカーニバル「大阪エヴェッサ vs 滋賀レイクス」	KTM河本工業総合体育館 (枚方市立総合体育館)	尾川教育長
9月20日	火	9月定例会月議会（一般質問）	枚方市役所	尾川教育長
9月21日	水	9月定例会月議会（一般質問）	枚方市役所	尾川教育長
9月22日	木	第9回教育委員会定例会・協議会	輝きプラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
9月22日	木	一般社団法人枚方青年会議所 創立六十周年記念式典	枚方市総合文化芸術センター	尾川教育長
9月26日	月	総合型放課後事業委託事業者選定審査会	枚方市役所	尾川教育長
9月26日	月	9月定例会月議会本会議	枚方市役所	尾川教育長
9月27日	火	感謝状贈呈式（くずはロータリークラブ）	枚方市役所	尾川教育長
9月27日	火	学校視察	明倫小学校	橋野委員・中西委員
9月28日	水	決算特別委員会	枚方市役所	尾川教育長
9月28日	水	市長表敬	枚方市役所	尾川教育長

1 / 4 ページ

日時		会議・行事等	場所	出席者
9月28日	水	第72回 社会を明るくする運動 街頭啓発	樟葉駅前	尾川教育長
9月30日	金	決算特別委員会	枚方市役所	尾川教育長
10月2日	日	安全安心まちづくり枚方大会	ニッパーク岡東中央 (岡東中央公園)	尾川教育長
10月2日	日	学校視察（運動会）	磯島小学校	橋野委員
10月3日	月	決算特別委員会	枚方市役所	尾川教育長
10月3日	月	学校視察	西牧野小学校	橋野委員
10月4日	火	決算特別委員会	枚方市役所	尾川教育長
10月4日	火	学校視察	菅原東小学校	橋野委員
10月5日	水	大阪第二人権擁護委員協議会 人権擁護委員との面談	輝きプラザきらら	尾川教育長
10月5日	水	要望書受け（校園長会）	輝きプラザきらら	尾川教育長
10月5日	水	学校視察	蹉跎東小学校	谷元委員
10月6日	木	教育政策会議	輝きプラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
10月6日	木	元教育長への全国市町村教育委員会連合会からの表彰状と 大阪府都市教育委員会連絡協議会からの感謝状贈呈式	輝きプラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
10月6日	木	校長会	輝きプラザきらら	尾川教育長

2 / 4 ページ

日時		会議・行事等	場所	出席者
10月7日	金	決算特別委員会	枚方市役所	尾川教育長
10月11日	火	学校視察	桜丘北小学校・中宮中学校	尾川教育長
10月12日	水	学校視察	長尾西中学校・楠葉中学校	尾川教育長
10月13日	木	9月定例会議会本会議	枚方市役所	尾川教育長
10月13日	木	令和4年度枚方市追悼式	枚方市総合文化芸術センター	尾川教育長
10月14日	金	学校視察	樟葉小学校	尾川教育長
10月14日	金	学校視察	伊加賀小学校	谷元委員
10月15日	土	学校視察（運動会）	開成小学校・牧野小学校	尾川教育長
10月16日	日	枚方チャレンジ～みんなでつくろう！まちのミライ～公園 完成お披露目会（一般社団法人青年会議所 創立60周年 記念事業）	車塚公園	尾川教育長
10月17日	月	保護者説明会（支援教育）	楠葉生涯学習市民センター	尾川教育長
10月17日	月	学校視察	小倉小学校	谷元委員
10月18日	火	教育政策会議	輝きプラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
10月18日	火	教頭会	輝きプラザきらら	尾川教育長

3 / 4 ページ

日時		会議・行事等	場所	出席者
10月19日	水	保護者説明会（支援教育）	南部生涯学習市民センター	尾川教育長

4 / 4 ページ

第10回 枚方市教育委員会定例会 会議録						
開会	令和4年10月25日午前10時00分		閉会	令和4年10月25日午前11時03分		
休憩	令和4年10月25日午前10時43分から午前10時44分まで					
日程	議案番号	案 件			結果	
1		教育長報告				
2	報告第16号	臨時代理事項の報告について (1) 職員の人事異動について (幼稚園)			承認	
3	報告第17号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 枚方市立生涯学習市民センター・図書館(複合6施設) 及び枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの 広場の指定候補者選定の答申について			聴取	
4	報告第18号	臨時代理事項の報告について (1) 府費負担教職員の懲戒処分に関する内申について			承認	
構 成 員	教 育 長	尾川 正洋		教 育 委 員	近藤 孝	
	教 育 委 員	谷元 紀之		教 育 委 員	中西 悠子	
	教 育 委 員	橋野 陽子		/		
説 明 員	副 教 育 長	岩谷 誠		中 央 図 書 館 長	河田 淳一	
	総 合 教 育 部 長	新内 昌子		児 童 生 徒 支 援 課 長	齋藤 博	
	学 校 教 育 部 長	位田 真由子		教 職 員 課 長	高山 和子	
	総 合 教 育 部 次 長	大西 佳則		教 育 研 修 課 長	倉田 仁司	
	総 合 教 育 部 次 長 (新しい学校づくり担当) 兼 学校教育部次長 兼 学校教育室長	高橋 孝之		/		
	教 育 政 策 課 長	山下 恵一		記 録	教 育 政 策 課 課 長 代 理	高松 健大
	お い し い 給 食 課 長	小林 弘人		傍 聴 の 人 数		1 人

○尾川教育長 開会に先立ち、委員の出席状況について報告を求めます。新内総合教育部長。

○新内総合教育部長 委員の出席状況について報告します。

本日の会議の出席者は、全員出席です。

以上、報告を終わります。

○尾川教育長 報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただいまから、令和4年第10回枚方市教育委員会定例会を開会いたします。

次に、本定例会の会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定により、教育長において谷元委員を指名いたします。

本日は追加議案として、報告第18号「臨時代理事項の報告について」が提出されておりますので、日程4として追加したいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、本日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員のマスク着用や空調と換気の併用、1時間ごとに5分程度の換気休憩などの対策を講じながら、進行させていただきます。

それでは、日程1「教育長報告」を行います。

今回の教育長報告では、前回定例会で報告した以降の私の活動状況を報告し、教育委員さんの活動状況についてご報告いただきます。

また、支援教育に関する保護者説明会、今後の中学校給食に関する方針の策定に向けた作業の進捗状況、その他コロナ対応の変更点などについて事務局からご報告させていただきます。

最後に、市議会9月定例会の決算特別委員会等の質疑の内容について共有させていただきたいと思います。

まず、前回定例会で報告した以降の私の活動状況ですが、各種イベントへの参加をしてございます。新型コロナの感染状況が一定落ち着いている状況もある中、様々なイベントが開催され、参加してまいりました。

9月18日の25周年記念ひらかたカップドッジボール大会では台風の影響で一部の地域は参加できなくなっておりましたが、全国から多くの小学生が枚方に集まり、熱い戦いを繰り広げておりました。9月19日の枚方市・大阪エヴェッサ バスケットボールカーニバルでは、枚方市の香陽ミニバスケットボールクラブ・東香里中学校出身で、リオオリンピックで大活躍されました栗原三佳さんによるクリニックが行われ、子どもたちが生き生きと練習に取り組んでいたところでございます。そのほか、9月22日には、一般社団法人枚方青年会議所の創立六十周年記念式典、9月28日には、社会を明るくする運動の樟葉駅前での街頭啓発、10月2日の枚方警察署管内防犯協議会主催の安全安心まちづくり枚方大会、10月13日には枚方市追悼式、10月16日には教育委員会すぐ隣の車塚公園におきまして、「枚方チャレンジ～みんなでつくろう！まちのミライ～公園完成お披露目会」ということで、新たに子どもたちが設置したタイヤ公園のお披露目会に参加するなどしたところでございます。

表敬訪問等といたしまして、9月27日には、市立小中学校全63校にプロジェクタースタンドを寄付いただいた「くずはロータリークラブ」の皆様への感謝状贈呈式に参加させていただきました。9月28日には、スケートボードの関西大会で総合1位の成績を収め、全国大会に出場を決めた杉中学校2年生の田淵利来さんの表敬訪問を受けたところです。10月5日には、大阪第二人権擁護委員協議会の人権擁護委員中道様、林様が来庁され、子どもへの性暴力対策に

向けた取組みとしての人権教室開催への協力依頼がございました。

また、同日、幼小中校園長会の会長3名が来庁され、令和5年度の教育予算の充実に関する様々な要望をいただいたところです。例えば、幼稚園長会の北尾園長からは、架け橋プログラムへの引き続きのサポートについて、小学校長会の横田校長からは支援教育の充実について、中学校長会の吉本校長からは、働き方改革の一環としてのメッセージ機能付きの留守番電話の設置など、要望があったところがございます。教育委員会として、できる限り要望の実現ができるよう、特定財源の確保なども含めて検討していきたいと考えてございます。

10月6日には、奈良前教育長の長年の功績に対し、全国市町村教育委員会連合会からの表彰状と、大阪府都市教育委員会連絡協議会からの感謝状の授与を行わせていただきました。私からもこの場を借りてあらためて感謝申し上げます。大変お世話になりました。

次に校長会でございます。10月6日に開催した校長会では、他市の事例ではあるものの、いじめ問題に対する不適切な対応も含め、学校や教員にかかわる不祥事の報道が多くなされていることから、他山の石として、服務規律の徹底をお願いしたところがございます。

また、中学校の進路指導に関しても、公立高校受験の際の調査書のミスの報道がなされていることから、生徒の将来を左右しかねない問題が生じないよう、各中学校の作業手順の再点検をお願いするなどしたところがございます。

学校訪問でございますけれども、10月11日、12日、14日には、学校訪問をさせていただき、支援教育の見直し方針についての受け止めなども聞かせていただきました。この訪問の中で感じたことですが、文科省通知と枚方市の現状の違いを感じましたのは、通常学級での学びの時間の位置づけです。現行制度では、支援学級に在籍するということは、高学年や中学校では交流及び共同学習を含めて、週29コマを支援学級担任が担当するということが前提になっております。枚方市では、「ともに学びともに育つ」観点から、通常学級での学びの時間を重視しておりますが、この通常学級の学びにおける支援学級担任、または通常学級担任のかかわりが少ないと感じられる点があることでございます。この点については、今回の文科省通知の発端とも言える部分ではないかと感じています。現在、各学校において支援教育の充実に向けた校内研修も含め取組みを進めていただいているところと思いますが、今申し上げた点も含めて、就学相談や次年度の指導計画を検討するよう教頭会でもお願いしたところがございます。

また、10月15日には、小学校2校の運動会を視察させていただきました。コロナ禍の影響で子どもたちの体力に課題があるといわれる中ですが、参加していた子どもたちが目いっぱい楽しそうに頑張っている姿をみることができ良かったと感じております。

私からの報告は以上となります。

次に、教育委員の皆様のご報告いただきたいと思います。

まず、谷元委員からお願いします。

○谷元委員 私は、業務改善推進校として取り組まれている伊加賀小学校と蹉跎東小学校の2校を訪問し、両校の校長先生からお話を聞いてきましたので、報告いたします。

伊加賀小学校は、令和2年度、業務改善推進校に応募し、2年間取り組まれました。現在は推進校ではないので、業務アシスタントの配置はありませんが、日々、業務改善に取り組まれています。高嶋校長先生は、「充実しつつ、ゆとりある仕事スタイルの確立」を業務改善の目標に掲げられました。初めに、教職員に当事者意識を持たせるため、自分でできる働き方の見直

しを考えさせ、組織として業務改善につなげたことがよかったと話されました。

1年目は、新型コロナウイルス感染の影響があり、連絡帳を先生に見せるため、ランドセルを広げる子供たちで廊下がいっぱいになる、朝の健康観察に時間がかかり、授業が始められない、朝から保護者からの電話が鳴りやまないなどの混乱が起きました。そこで配付されたタブレットを活用し、スプレッドシートによる情報共有を開始、「伊加賀掲示板」、「伊加賀先生だより」、時間割管理や特別教室使用表など、会議資料等をICT化、とことんペーパーレスに取り組みました。教職員の意識改革だけではどうにもならないほど仕事量は膨大なため、校務分掌の見直しや会議の回数、時間の削減、ゼロベースで必要なものとそうでないものを精査し、クリーンデスクにも取り組みました。また、ストレスチェックを活用し、みんなで分析することで同僚性を高め、上司や同僚からの支援の向上を図りました。成果としては、仕事の見通しを持ち、計画的に働くようになった。業務のICT化や会議の短縮で、自分の時間が増え、時間外勤務時間が減少した。大切なことは、勤務時間を減らすことを目的にしないこと。校長先生は、「目標はあくまでゆとりある働き方の確立、やりがい、働きがいを支えることです。そのために、確かめ合うこと、話し合うこと、楽しむことの3点が大切です」と話されました。

蹉跎東小学校は、令和3年度、業務改善推進校に立候補し、今年が2年目になります。桐山校長先生は、1年目、あえて産休前の担任外の先生に、自分自身が働きやすい学校になるよう、業務改善推進リーダーをお願いしたそうです。その先生が推進リーダーとして取り組もうと思ったのは、母親になったことがきっかけだったとのことでした。朝、子どもを預け、帰りに迎えに行くためには、出勤は8時半ぎりぎり、退勤は5時10分には学校を出ないと間に合わない。他の同僚に申し訳ない気持ちで仕事をしていたそうです。残業が当たり前の状況を変えないとの思いで推進リーダーを引き受けられたそうです。推進校としての1年目は、毎朝の朝礼を週2回の夕礼に変更、先生たちが朝すぐに教室に行けるよう、連絡事項は全てタブレットで共有するようにしました。会議でのプリント配付も全てやめて、タブレットで資料を見て話し合う、ペーパーレスに取り組みました。また、専科制を導入、高学年担任の空き時間を増やし、空いた時間を自分の業務に充てるだけでなく、別の学年のクラスに入るなど、互いの支援にも活用し、チームで支え合う校内体制を取られたそうです。

業務改善の取組みは大きく分けて3つあり、1点目は、時間の使い方。特に電話対応の時間を朝8時から夕方6時にしたことで、先生たちの教材研究や授業の準備の時間が確保できたと言われていました。2点目は、人材活用。業務アシスタント、学校司書の活用、加配教員などの教職員の連携を進めたこと。3点目は、ペーパーレス化。保護者への配布物をデジタル化したことで、印刷や配布の時間、紙や印刷代も大幅に削減でき、業務改善につなげることができました。教職員へのアンケートでは、80%以上が自分で業務改善できたと回答があったそうです。自分たちで働き方を変えたことで、充実感と満足感を得ているし、当事者意識を持って各自が取り組むことで、自分自身の生活が改善し、家庭も円満になる。結果として、学力の向上にもつながったと、大変喜ばれていました。

枚方市の示す働き方改革の共通目標は、これまでの働き方を見直し、教職員一人一人の心身の健康保持の実現と誇りややりがいを持って勤務することで、子どもに対して効果的で充実した教育活動を行うことを目指すことです。枚方市の働き方改革が注目を集め、大阪府内だけでなく、他府県からも問合せや視察、研修の依頼が増えていると聞き、大変うれしく思っています。

す。今後も教職員課を中心に取組みを進めていただくよう、よろしく願いいたします。以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

では次に、橋野委員、お願いします。

○橋野委員 私は、9月27日に、明倫小学校に中西委員と共に視察に行きました。また後ほど、中西委員よりお話しさせていただきます。

10月2日には、磯島小学校の運動会で、今年度より他学年の種目も全て見るできるようになり、午前中だけでも児童は、鈴木校長の開会の挨拶にもありました、お友達と協力して取組、最後まで諦めずに頑張っていました。地域の方々の TENT 張りや P T A の皆さんの協力もあり、途中で水分がなくなる児童もありましたが、大きなけがもなく、無事に終えることができていました。3日は、西牧野小学校の4年生の算数で、計算の決まりでの公開授業で、指導助言は元教育推進プランナーの藤本氏でした。4日は、菅原東小学校に視察に行きました。枚方市で一番児童数の多い学校ということもあり、1、2時間目と2時間にわたって視察させていただきました。オンラインでの児童集会在児童による司会進行で、運動会の目標や修学旅行の広島平和公園に持って行く折り鶴の作成の願いをしていました。とてもかっこよく立派にできていました。通級指導教室では、構音の指導の授業でトレーニングにより、上手に読めるようになった音読を聞かせてもらいました。児童の構音を治したいという意識の高さに感動しました。また、帰るときには、菊当番の児童が校務員さんと共に肥料をあげていました。きっときれいな菊の花が咲いてくれることと思います。大切な1日の一場面を見させていただきました。以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

では、中西委員、お願いします。

○中西委員 9月27日に、橋野委員と明倫小学校を見学してきました。各学年の教室の前には、大きなオープンスペースがあり、校長先生が工夫され、たくさんの展示物が飾られていました。とても見応えがありました。そのオープンスペースを利用して、雨の日の運動会の振りつけの確認や2クラスで映像を見たりするそうです。図書室は天井が高く開放的で、本は見やすく、子どもたちが手に取りやすいように工夫、整理され、図書室の前のパソコン教室は落ち着いて本が読めるスペースになっていました。図書室も教室前スペースも65年前に建てられたとは思えないぐらい広々としたすばらしい空間でした。運動会の予行演習も見ることができました。また今後も、ほかの学校に見学に行かせていただきたいと思っています。以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

では、近藤委員、お願いします。

○近藤委員 私が報告させていただくのは、活動報告ではございませんが、私自身が非常に憂慮しており、昨年末に文科省からも不登校児童数、生徒数の実数の通知が来たことを、皆様ご承知と思いますが。

私の友人が、「折れない心を育てる いのちの授業プロジェクト活動」を進めておりまして、様々なデータを渡され、それを読み込みますと。要点としましては、コロナ禍で増加する自分や他人を傷つける行為の増加や、児童生徒の過去最高数の自殺数の推移、増加し続ける不登校の増加要因や様々な環境要因が示されておりました。様々な分析ポイントが入っておりました

けれども、要約すると、コロナの影響での感染拡大での対面機会の減少に伴い、不安、悩みの相談機会の減少した子どもたちが非常に多いようですということが要約ポイントだったかと思っています。

近年の状況で、文科省の2021年10月発表では、不登校の児童数は全国で急増し19万6,000人と、小学校、中学校と学齢が上がるほど、実数が上がっている傾向であると。内訳は小学校で1%の6万3,000人、中学校では4.09%の13万3,000人ということだそうです。

翻って枚方市の現状を見てみますと、中学生約1万人に対して600人ということですので、約600人、ということは6%ということで、不登校と全不登校の率は、全国の数値を上回る現状がある状況も予想されるというところでございますか。

また、2018年、これは4年前の数字ですけれども、日本財団の実施調査では、文科省の不登校定義とは若干違い、不登校傾向時も含むとどのぐらいの数あるのかということ进行调查しているのですが、含みますと全国中学生325万人に対して、10.2%の33万人というデータも出てきておりました。

最後に、先ほど、先の9月枚方市議会の質疑で、不登校対策としての必要な人員配置の充実という質疑があったように記憶しております。先の教育政策会議でも示していただいた民間フリースクールの活用も含め、迅速な対策の策定が必要というように感じております。「誰一人取り残さない」、この課題解決においては、コロナ禍の特殊な教育環境を受けた影響を最小に持つていく必要があるというように考えます。以上、所感といたします。

○尾川教育長 ありがとうございます。

それでは、次に、事務局からの報告に入ってまいりたいと思います。

まずは、支援教育についてでございます。

10月17日（月）から、今後の枚方市の支援教育に係る保護者説明会を開催し、昨日で、4地区の説明会を終了しておりますので、参加人数や、質問内容の状況について、また、説明会終了後の当面のスケジュールについて、齋藤児童生徒支援課長から報告をお願いします。

○齋藤児童生徒支援課長 支援教育に係る保護者説明会の各回の参加人数等の状況につきまして、ご報告させていただきます。

北部地区ですが、10月17日（月）に楠葉生涯学習市民センターで開催いたしました。申込者数38名のうち37名にご参加いただきました。南部地区は10月19日（水）に南部生涯学習市民センターで開催し、32名の申込者数のうち29名にご参加いただきました。東部地区は10月20日（木）に菅原生涯学習市民センターにおいて、36名の申込者数のうち35名にご出席いただきました。中部地区は10月24日（月）に教育文化センターにおいて、36名の申込者数のうち28名にご参加いただき、全4回で129名の保護者にご参加いただいております。

主な保護者からの質問内容ですが、例えば支援学級の教育内容の充実について、文科省の4月の通知は支援学級在籍の子どもが、通常の学級で放置されている状態、これが問題と捉えていると読み取れるけれども、その改善については市教委が作成した今回の配布資料のどこに記載があるのかといったご質問がございました。回答としましては、リーフレット表紙裏のページの学びの場の設定というところで、支援学級で目安として9時間から14時間であるとか、15時間以上で、より自立活動等、支援学級での学習の時間を充実させていくと回答しております。

学びの場の選択の猶予期間はあるのですかというご質問で、例えば支援学級で1日1時間の学習でよいという方針を聞いたけれども、今の1年生、小1の子が中学校卒業までいいのですかというご質問をいただいています。毎年度見直しというのは行うんですけれども、一定見直しをする中で、中学校卒業まで大丈夫ですという回答をしております。

続きまして、中学校の学習評価につきましても多くご質問をいただいております。高校入試に際し、中学校で支援学級に在籍したら、全ての教科の評価が1になるのではないのですかというご質問をいただいております。こちらの回答としましては、支援学級に在籍イコール全ての教科の評価が1となるわけではございませんという回答をしています。まずは、学校と保護者で支援学級で行う学習内容の目標であるとか評価も含めてご相談いただく中で、例えば下学年の学習内容に取り組んだ場合は、当該学年としての一律の評価ができないことはありますという回答をしております。

また、中学校への引継ぎというところでのご質問をいただいております。現在小学校6年生で、今は通級を活用している。中学校に進学したら、支援学級も含めてどこの学びの場としようか検討しているところだが、どこに相談したらいいのですかというご質問でした。まずは、現在在籍している小学校の学級担任ですと。そこに相談の上、必要に応じて通級指導教室の担当教員や支援教育コーディネーターも同席の上、ご相談してくださいと。その上で、小学校は中学校に丁寧に個別の教育支援計画や指導計画を含めて引継ぎを行っていきますので、小学校での相談をもとに中学校とも相談を行ってくださいと回答をしております。

最後、これは質問ではなく、ご意見、ご要望として、教育予算の充実をというご要望をいただいております。ソフト面の支援教育に係る教職員数の充実、またハード面の支援学級教室の環境整備の予算など、しっかり確保をお願いしたいと、ご意見、ご要望をいただいているところです。

今後の当面のスケジュールについてですけれども、説明会が残り2回ありまして、10月28日金曜日の夜の部、7時からラポールひらかた、来週11月5日土曜日10時、輝きプラザきららというところで、平日ご出席、ご参加が難しい方に向けて、今後、平日の夜と土曜日に開催してまいります。

今後、専門家等の委員会設置に向けた準備を現在進めているところで、どちらの専門家、大学教授等をお願いするかというところを、今、課内のほうで検討しているところです。

また、補正予算が進んでおりまして、12月補正で教育ソフト及びパーテーション等の教育環境整備に係る予算を要求してまいります。

11月25日に、教育子育て委員協議会が開催予定となっております。現時点の案件としましては、保護者説明会の状況であるとか、専門家等の委員会設置に向けた準備、また補正予算等について、ご報告させていただく予定としております。私のほうからは以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。支援教育の関係で何かご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

次に、今後の中学校給食に関する方針の策定に向けた作業の進捗状況について、小林おいしい給食課長から報告させます。

○小林おいしい給食課長 中学校給食の現在の進捗状況について、報告させていただきます。

まず、昨年度、中学校給食のあり方懇話会を開催しまして、それらの意見と今年度7月の児

童生徒、保護者へのアンケート結果も踏まえまして、「今後の中学校給食に関する方針（素案）」を、今年8月に取りまとめたところです。この素案につきまして、9月1日から9月20日にかけて、市民からの意見募集、いわゆるパブリックコメントを実施しました。このパブリックコメントにつきましては、意見の提出のあった人数が126人、オンラインで123人の方から、意見提出用紙につきましては2人の方から、メールでの意見提出が1人ということで、126人の方からご意見をいただいております。1人の中でも意見を複数いただいている方もございまして、公表する意見の総数は328件のご意見をいただいております。

今現在取りまとめの最中ではございますけれども、意見提出者126人のうち、92の方が全員給食が望ましいというご意見です。11人の方につきましては、選択制が望ましいというご意見を提出いただいております。そのほか、給食の提供方法でありますとか、学校における課題、給食費等々についてご意見をいただいております。これは取りまとめができ次第、公表していくこととしております。また、このパブリックコメントの結果も踏まえて、その他様々な各方面からご意見もいただいておりますことから、これらを踏まえた上で、「今後の中学校給食に関する方針（案）」に取りまとめでいきたいと考えております。

今後のスケジュールにつきましては、まずこの案を今月から来月にかけて作成をいたしまして、11月下旬に開催されます教育子育て委員協議会において、「今後の中学校給食に関する方針（案）」を説明いたしまして、そこからまたご意見をいただく予定にしております。

いただいたご意見も踏まえながら、12月にはPFI事業の可能性調査、これにかかる補正予算案の提案を12月議会で提案し、その後、「今後の中学校給食に関する方針」を策定と予定しております。この方針の策定にあたりましては、また改めて説明させていただきたいと考えております。報告は以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。今のような状況を踏まえまして、また教育政策会議で進めさせていただきたいと考えております。

次に、コロナ対応について、高橋学校教育部次長から報告させます。

○高橋学校教育部次長 大阪モデルがグリーンステージになったことも踏まえ、10月12日付けで教育委員会事務局より市立小中学校に対して「学校の教育活動を実施するにあたって」の通知を行っております。学校における具体的な活動場面ごとの感染予防対策についてでございますが、これまでも大阪府教育庁から、ステージごとの具体的な対応例が示されており、このことについて改めて周知したものでございます。

また、給食時の対応につきましては、学校において黙食の取り組みが進んでいる場合、「学校机飛沫防止ガード」の使用を必要としないことなど、大阪モデルのステージや学校の感染状況に応じて適切に対応することといたしております。

また、新型コロナウイルスの感染者の公表につきまして、9月27日より、枚方市保健所が本市における日ごとの新規感染者数の公表が終了したことに伴い、小中学校におきましても、感染者数につきましては、毎週月曜日から日曜日の新規感染者数を翌週の水曜日に公表しておりますので、併せてご報告いたします。

コロナ対応に関する報告は以上でございます。

○尾川教育長 ありがとうございます。GIGAフェスの取り組みについて、倉田教育研修課長から報告をお願いします。

○倉田教育研修課長 枚方市では、2025年に開催される大阪・関西万博にあわせて、枚方のまちの魅力の向上につながる事業やイベント等の取り組みや情報発信を行います。また、枚方市内全体を「枚方パビリオン」に見立て、「ひらかた万博」の呼称で市独自の取り組みとして、枚方市内のあらゆる場所でワクワクするような楽しい取り組みを段階的に実施します。

「ひらかた万博」の取り組みの一つとして、令和5年1月28日（土）に市教育委員会主催の教育イベント「GIGAフェス 2022～ミライのマナビ～in ひらかた万博」を開催いたします。

そのイベントの一つに、「Minecraftで創ろう！30年後の枚方市」というイベントを実施いたします。市内小中学生20名でプロジェクトチームを結成し、「30年後の枚方市がより魅力ある街になるためにはどうすれば良いか」をテーマに議論を重ね、Minecraftというゲームを活用して、仮想空間内に街を再現します。子どもたちの取り組みの様子は枚方市教育委員会ポータルサイト「GiGAスク！ひらかた」に動画で掲載していますので、ぜひご覧ください。今後も随時更新してまいります。

また、他にも、GIGAフェス用の仮想空間に、バレーボールチーム「パナソニックパンサーズ」と連携し、子どもたちがデザインしたパナソニックパンサーズのユニフォームや、子どもたちが考える「ミライのガッコウ」のイメージの動画やイラストを飾り、世界中のどこからでも見に来ていただけるようにします。

さらに、輝きプラザきららでは、プログラミング教材の体験会や大阪工業大学とのコラボレーション企画、市長と子どもたちが「ミライのガッコウ」について語りあえる場を設けます。また例年実施の漢字作文コンクールも同日に行う予定です。詳細は、枚方市教育委員会のポータルサイト「GiGAスク！ひらかた」内の特設サイトをご覧ください。

GIGAフェスに関する報告は以上でございます。

○尾川教育長 ありがとうございます。このMinecraftを活用した子どもたちの取り組みは、非常に楽しんでいる様子が見られるので、私も一度見に行きたいと思っています。教育委員の皆様もご都合つきましたら、ぜひご覧になっていただければと思います。

次に、学校における働き方改革の取り組みについて、高山教職員課長から報告をお願いします。

○高山教職員課長 先ほど谷元委員からもお話いただきましたが、本市の学校における働き方改革の目標は、「これまでの働き方を見直し、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りややりがいをもって勤務することで、子どもたちに対して、効果的で充実した教育活動をおこなうことをめざす。」と示しております。

特徴としては、公募制で選ばれた業務改善推進校10校が働き方にかかる課題について主体的な見直しを行う中で出てきた好事例を、スピーディーに他校に広げていく仕組みをつくり、学校が意欲的に取り組むための支援に力をいれてきたことです。このことについては、文部科学省の「全国の学校における働き方改革取組事例集」に取り上げていただいております。今年度に入り、他の自治体からの視察が増え、9月には、滋賀県教育委員会の教育委員による視察を伊加賀小学校にて、愛知教育大学と奈良教育大学の学生10名との対談を蹉跎東小学校にて受けております。大学生との対談については、教員をめざす方を読者としている雑誌「教職課程」に掲載されました。また、明後日27日には、東京都北区議員視察、11月には広島市議員視察も控えております。さらに、滋賀県教育委員会からは、本市教育委員会事務局がどのような取組

みの工夫により、学校の意欲向上につなげたか等について、講師依頼を受けております。

今年度はさらに市内全体に取組みを広げるため、30分という短時間のオンラインミニ研修を実施しています。6月にはストレスチェックの分析結果を有効的に活用する工夫について、9月には校内業務改善研修の進め方について研修を行いました。各校の課題に合わせ、意欲的に参加していることが印象的で、参加校の今後の取組みに期待しているところです。令和の日本型学校教育の構築のためには働き方改革が欠かせないと示されています。今後さらにハード面の整備を考える必要があるかとは思っておりますが、それだけでなく意識改革や組織改革を大切にすることが、時間外勤務縮減につながると考えております。

これから、業務改善推進校における効果的な取組みを市内全体にさらに広げることと、ウェルビーイング (Well-being) な職場環境の研究を進めていきたいと考えております。今後も「教職員が元気な学校は子どもたちも元気な学校」をスローガンとし、よりよい教育活動の在り方を学校と共に考えてまいります。

○尾川教育長 ありがとうございます。先ほど谷元委員からもお話いただきましたけれども、取り組んでいる学校の状況、いいなという風に考えておりますし、やはり、学校がブラックだという報道が相当出ていて教員不足にも拍車がかかっている状況もありますので、しっかりこのような好事例、いい取り組みについては、引き続き、教育委員会としても対外的に、PRをして、学校が本当にいいところなんですよと思ってもらえるように、その結果、教員もしっかり確保できて、子どもたちが楽しく育つという好循環につなげていけるような形になればいいなと思っております。事務局からの報告につきましては以上で、終わらせていただきます。

最後に、市議会9月定例会での決算特別委員会等の質疑の内容について共有させていただきたいと思っております。各議員から様々なご意見あるいは要望をいただいたところでございます。

ICT教育環境の整備をするべき、留守家庭児童会室の環境整備についてもしっかりとやってほしい、図書購入費の確保、感染対策としての手洗い時の自動水栓のさらなる導入、学校司書の全校配置、先ほど近藤委員からもご紹介いただきましたが、不登校対策としての必要な人員配置の充実、ドローンなどの最先端技術を活用した教育フォーラムの実施、消費者教育の充実、地域教育協議会の在り方の検討といった様々ご意見をいただいております。これらの課題につきましても、あらためて教育政策会議での議論をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。教育長報告の内容につきましては、以上となりますが、全体を通して何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

○尾川教育長 それでは、日程2、報告第16号「臨時代理事項の報告について（1）職員の人事異動について（幼稚園）」を議題とします。位田学校教育部長。

○位田学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第16号、臨時代理事項の報告について、ご説明申し上げます。

議案書1ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、教育委員会の権限に属する事務といたしまして、特に緊急を要すると認められましたため、教育長が臨時に代理したもので、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第3項の規定により、教育委員会にご報告し、ご承認をお願いするものでございます。

議案書 2 ページをご覧ください。

報告は、ページ中ほどの「2. 臨時代理事項」に記載のとおりでございます。

議案書 3 ページをご覧ください。

臨時代理第 15 号、職員の人事異動（幼稚園）につきまして、ご説明いたします。

本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第 3 条第 2 項の規定により、令和 4 年 9 月 27 日付けで、教育長が臨時代理をしたものでございます。

議案書 4 ページをご覧ください。

「1. 臨時代理の内容」でございますが、市立幼稚園において、上段の表に記載の正職員 3 名、下段の表に記載の任期付職員 1 名について令和 4 年 10 月 1 日付けで人事異動を行っております。以上、簡単ではございますが、臨時代理第 15 号の説明といたします。

以上、報告第 16 号「臨時代理事項の報告について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議の上、ご承認いただきますよう、お願いいたします。

○尾川教育長 これから質疑にはいります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。

これから報告第 16 号を採決します。

本件は、承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○尾川教育長 ご異議なしと認めます。

よって本件は承認することに決しました。

○尾川教育長 続きまして、日程 3、報告第 17 号「委員会の会議に付した事項の報告（1）枚方市立生涯学習市民センター・図書館（複合 6 施設）及び枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場の指定候補者選定の答申について」を議題とします。

なお、本件及び日程 4、報告第 18 号「臨時代理事項の報告について（1）府費負担教職員の懲戒処分に関する内申について」につきましては、枚方市情報公開条例第 5 条第 1 号、6 号及び 7 号に該当する非公開情報が含まれておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項の規定に基づき、会議を公開しないこととしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○尾川教育長 ご異議なしと認めます。

それでは、報告第 17 号及び報告第 18 号につきましては、非公開といたします。

ここで、定例会は休憩といたします。

休憩中の時間を使って教育委員会協議会を行います。

(定例会当日時点はここから非公開部分)

○尾川教育長 ただいまから、定例会を再開します。

それでは、日程3、報告第17号「委員会の会議に付した事項の報告について(1)枚方市立生涯学習市民センター・図書館(複合6施設)及び枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場の指定候補者選定の答申について」を議題とします。説明を求めます。新内総合教育部長。

○新内総合教育部長 続きまして、報告第17号「委員会の会議に付した事項の報告について」につきましてご説明いたします。議案書の5ページをご覧ください。

本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第4条第2号の規定により教育委員会に報告するものでございます。

ご報告いたしますのは、資料の項目1. のとおり、『枚方市立生涯学習市民センター・図書館(複合6施設)及び枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場の指定候補者選定の答申について』でございます。

続きまして6ページをご覧ください。

資料の項目2. 令和4年(2022年)6月28日開催の教育委員会定例会で可決された次の①から④の各指定管理者選定委員会への諮問について、令和4年(2022年)10月20日付け、④については令和4年(2022年)10月17日付けで、次ページからのとおり、答申を受けました。

選定委員会からの答申書の写しについては、議案書の7ページから10ページに添付しておりますので、ご覧ください。なお、指定管理者の指定につきましては、12月の定例月議会へ各施設の指定管理者の指定議案として提出する予定でございまして、議会の議決事項の意思決定について、11月の教育委員会定例会でお諮りさせていただく予定でございまして。

以上、はなはだ簡単な説明ではございますが、「委員会の会議に付した事項の報告について」の報告とさせていただきます。

○尾川教育長 これから質疑にはいります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。

以上をもって、報告第17号の聴取を終結します。

○尾川教育長 続きまして、日程4、報告第18号「臨時代理事項の報告について(1)府費負担教職員の懲戒処分に関する内申について」を議題とします。

(日程4は、非公開案件のため不掲載)

(定例会当日時点はここまで非公開部分)

○尾川教育長 ただいまから、定例会を公開いたします。

以上、本定例会に付議された案件はすべて議了しました。

これをもって、令和4年第10回枚方市教育委員会定例会を閉会いたします。

署名欄

(教育長) 尾 川 正 洋

(教育委員) 谷 元 紀 之
